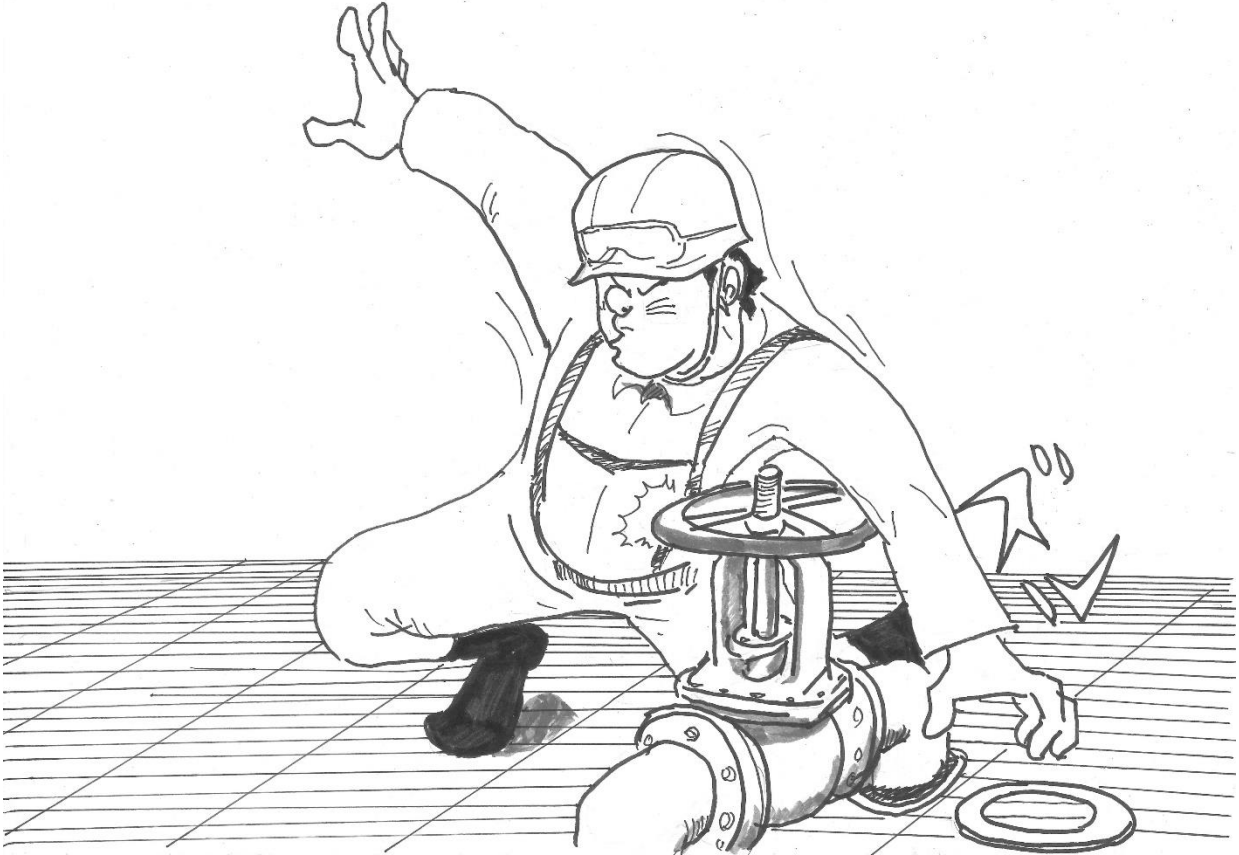


災害事例 (不休業 22)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻: 場所		2022年9月5日(月) 9時55分	: プラント内
職種: 年齢: 経験		鉄工	: 23才 : 5年
発災時の作業内容		配管作業実施後、現場の片付け作業中、グレーチング上でしゃがんだ時に足を滑らせ、付近にあったバルブのハンドル部にわき腹をぶつけ打撲した。	
傷病名: 部位: 程度		打撲	: 左脇腹 : 不休業
事故の型: 起因物		激突	: グレーチング
原因	不安全な状態	・靴底に滑りやすい溶剤が付着していた。	
	不安全な行動	・手動バルブの裏側に落ちているガスケットを拾おうとした。	
	安全管理上の欠陥		
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・靴底に滑りやすい溶剤が付着した場合には除去する。</li> <li>・落ちている物は安全な体勢で拾う。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
 <p>The illustration shows a worker in a hard hat and safety glasses slipping on a metal grate. He is wearing a long-sleeved shirt and pants. He is holding a valve handle with both hands. A gas gasket is on the floor next to him. The worker is falling backwards, and his right hand is raised in a gesture of surprise or pain. The floor is made of metal grates.</p>			